

進路だより

第2号



令和6年9月9日(月)

青森県立八戸東高等学校 進路指導部

とりわけ猛暑だった夏も過ぎ、あっという間に涼しくなってきました。3年生の大学の総合型・推薦入試は準備のヤマ場を迎えています。夏休みは多くの生徒が色々な活動に取組みました。体験や学びによって得たものを自分の糧として成長していくことを願います。他にも病院見学、市役所訪問等様々ありましたが、主だったものを紹介します。

◇夏の活動振り返り◇

①キャリアアッププログラム(表現力向上集中講座)

7月23日・27日の2日間、3年生の学校推薦型・総合型選抜を希望する生徒を対象に、『表現力向上集中講座』を開催しました。この講座は、グループワークや教員との面談を通して、自分が関心を持つ学問領域への理解を深め、志望理由書の作成や入試面接につなげるものです。講座後の振り返りシートに書かれた「これからやらなければならないこと」をいくつか紹介します。

- ・これからは他者や外部との交流を行い、活動内容を濃いものにしていくことが必要。
- ・新聞やニュースを毎日読んだり見たりする。(多数)
- ・自分だったらどうするか、自分の専門との関連性を考える。
- ・他大学と異なる、そこでしか学べないことの理解を深める。(複数)
- ・普段話さない人や目上の人と話す時の言葉遣いに気を付ける。
- ・専門書を読み、疑問点を明らかにし、専門家への問合せをする。
- ・当たり前のことだが期限は厳守しその中で精度の高いものを作る。
- ・志望理由や小論文で忙しくても勉強する。スキマ時間の活用。
- ・よく質問されることに詰まらなくて答えられるようにする。自分の核を作る。会話のキャッチボールができるようにする。

(面接に関するコメント多数)



(グループワークの様子)

②看護出前授業

7月24日、今年度も青森県看護協会の山端氏による看護出前授業が行われました。現場で働いている方の生の講義を聞き、職業に対する知識や意欲を高めることができたようです。また、看護師不足である我が県において、看護師としてこれからどんな力を身に付ける必要があるのかを考えさせられる講義でした。以下に、生徒の感想を紹介します。

- ・看護は命の誕生から死を迎える時まで人生の様々な場面に関わる大切な仕事であると再認識した。
- ・看護のエキスパートである専門看護師と臨床のスペシャリストである認定看護師の違いが強みがわかった。
- ・外国人患者の増加で、英語を話せる看護師が求められていることを知り、英語学習に力を入れようと思った。
- ・看護師は、採用されてからも常に新しい情報や知識をアップデートし、学び続けることが重要だと知った。
- ・病院完結型の医療から地域完結型医療に変わるには、看護師以外の他職種連携が重要であるとわかった。
- ・3年続けて参加しているが、毎回多くの新しい内容や深い学びがあり、とてもよい経験をしている。

学んだことを、今後の進路実現へ繋げていけるように生かしてください。また、感想文には「自分には『コミュニケーション能力』がまだまだ不足している」というものが多かったです。今後はコミュニケーション

能力を向上させるには、何をすればいいのかを考えて具体的な行動に移しましょう。

③学習支援ボランティア



(吹上小学校での様子)

7月29、30日に柏崎小学校で、8月7～9日に吹上小学校で学習支援ボランティアを実施しました。今年は1年生から3年生まで希望者が参加することができ、学習や自由工作の補助や宿題の採点を行いました。以下に生徒の感想の一部を紹介します。

- ・わかりやすく教えることが難しかった。答えを教えるのではなく、解答までの筋道を一緒に考えることの重要性を知った。(多数)
- ・今回のボランティアを通じて、人に教えることは楽しいことだと実感できた。

- ・小学生と接したことで、小さい子どもとのコミュニケーションの取り方がわかった。(複数)
- ・いろいろな子どもの目線になって接しなければならないので、教師という職業の大変さを知ることができた。
- ・ソーシャルワーカーを目指すにあたり、小学生の考え方等に触れることができ、この貴重な体験を今後に生かしたい。
- ・将来、小学校の教員を目指している。今回の体験で、小学生がわからないと言える環境を作れる先生になりたいと強く思った。

④介護出前講座



7月25日、株式会社サンメディカルと特別養護老人ホーム福寿園による介護出前講座が行われました。現場の方の声を聞き、また介護カーや介護機器を用いた体験をすることで職業理解を一層深められたことと思います。以下は生徒の「参加してみて考えが変わったこと」の感想抜粋です。

大変な仕事というイメージだったが・・・、(多数)

- ・人との関りを大切にしたい仕事という風が変わった。
- ・やりがいがありそうな仕事だと興味を持った。
- ・思ったより力を使わずに仕事ができると分かった。

- ・介護ロボットやICTの急速な進歩を感じ、それほど力を使わない、楽しいものというものになった。
- ・介護される側もする側も笑顔になるような工夫が沢山あると分かった。
- ・「直接ありがとうと言われる仕事」というお話を聞き、大きく惹かれた。
- ・「ノーリフティングケア」という考え方を知り、介護する側もされる側も体の負担が大幅に軽減されると分かった。

今回は看護・介護と両方参加する生徒も複数名おり、将来の視野を広げる点で役に立ったと考えます。学んだことを、今後の生活や進路決定に生かしてほしいと思います。

【スキルアッププログラムについて】

ボランティアや大学オープンキャンパス、講演などの校外学修を一定数経験することで、青森県から認定証がもらえます。認定された生徒のサンプルもあるので、興味のある生徒は進路指導室まで見に来ててください。

最近の上級学校進学トレンドとして、課外活動、校外学習(特に探究活動)の取組が重視されてきています。3年生はこれまでの経験を、また1・2年生はこれからなりたい自分を見据え、「関心を持って取り組んだこと・そこから何を学んだか」を自分の言葉で表現できるようになると、相手に自分をより良く知ってもらえる機会となります。(Y.S.)